

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4111110930		
法人名	医療法人 聖母会 古賀内科		
事業所名	グループホーム 次郎ん家		
所在地	神崎市千代田町境原282-2		
自己評価作成日	平成 24年 3月 18日	評価結果市町村受理日	平成24年7月24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成24年4月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療連携を図り、終末期ケアを行っている。平成15年開設以来21名の方を看取った。ご本人やご家族の意向(行きたい所・したいこと)を叶えられる様計画を立案し支援している。ご家族の心情を察しレスパイトケアも考え、利用者様を自分の家族立場でかかわる様心がけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

県南部の田園地帯に位置する2ユニットのグループホームである。母体法人の代表が、”認知症の方のホスピスの場”としてのグループホームといったものを目指しホームを開設された経緯があり、その人らしい最後を迎えられるよう、管理者・職員が一丸となって日々取り組まれている。アセスメントを十分に行い、入居者の生活歴、職歴等を把握し、一人ひとりに応じた声かけや対応を心がけられている。その人らしい暮らしの継続が出来るよう、気になる様な事があれば事例検討会を開くなどして今後の対応を随時検討し、職員が同じ方向でケアにあたれるよう情報の共有に努められている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	西ユニット	南ユニット		西ユニット	南ユニット
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	○			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(西ユニット)	自己評価(南ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様の歩行能力に合わせただけ自分の足で歩いて頂く様にしている。また、排泄誘導は、画一的にならないよう個別に誘導出来る様チェックしている。毎朝、誓いの言葉として読み上げている。	利用者様の歩行能力に合わせただけ自分の足で歩いて頂く様にしている。また、排泄誘導は、画一的にならないよう個別に誘導出来る様チェックしている。毎朝、誓いの言葉として読み上げている。	理念と共に、「私たちの誓い」という5項目を掲げ、毎朝読み上げ確認されている。各ユニット会議を振り返りの場として活用し、理念に即したケアができているか事例検討も行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地区夏祭りへの参加また、当法人の夏祭りに地区の方にも参加して頂いた。また、ホーム行事にも参加して頂いている。他のグループホームに出掛け交流を図っている。	地区夏祭りへの参加また、当法人の夏祭りに地区の方にも参加して頂いた。また、ホーム行事にも参加して頂いている。他のグループホームに出掛け交流を図っている。	地域の夏祭りへの参加、近隣の公園や神社への散歩等々を通し関わりも多い。また、ホームの夏祭りや餅つき等の行事へ、地域からの参加も得られ、地域との日常的な交流が図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議(地域住民代表者含)において認知症についての学習会も行っている。民生委員会に看取り介護についての勉強会の講師として参加した。	運営推進会議(地域住民代表者含)において認知症についての学習会も行っている。民生委員会に看取り介護についての勉強会の講師として参加した。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の近況報告・事故・ヒヤリハット報告・苦情要望等の報告に対して改善策を報告しアドバイスを頂いている。その内容については、翌日の申し送り及び会議録にて皆へ報告するようにしている。	利用者様の近況報告・事故・ヒヤリハット報告・苦情要望等の報告に対して改善策を報告しアドバイスを頂いている。その内容については、翌日の申し送り及び会議録にて皆へ報告するようにしている。	家族、市町、地区役員等の参加があり、ホームからの報告にとどまらず、その時々時期に合わせて、感染症や認知症の勉強会等も実施されている。また、報告書もまとめられ、情報の共有が図られている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ホームの取り組みや近況報告に関しては、運営推進会議に参加して頂く事で報告出来ている。又、シルバー担当者会議にも参加し、地域の事業所の方との情報交換やアドバイスを受けている。	ホームの取り組みや近況報告に関しては、運営推進会議に参加して頂く事で報告出来ている。又、シルバー担当者会議にも参加し、地域の事業所の方との情報交換やアドバイスを受けている。	運営推進会議、町全体の介護サービス事業所が参加するシルバー担当者会議等を利用し、市町とは気軽に相談できるような関係の構築に努められている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関のドアは、ツータッチとなっており利用者様の中には自由に出入りが出来る。ホーム周辺への散歩は自由にしている。見当識障害が重度な方に対しては、スタッフがさりげなくついて行く様にしている。また、毎朝、誓いの言葉を読み上げることで意識を継続している。	玄関のドアは、ツータッチとなっており利用者様の中には自由に出入りが出来る。歩行不安定な方は、鈴やセンサーマットを利用し行動を制御しない様にしている。また、毎朝、誓いの言葉を読み上げることで意識を継続している。	身体拘束をしないケアの大切さについては、学習の場も設けられ、職員全体で共有されている。気になる言葉かけ等があればその都度注意を促す等、随時対応されている。現在、玄関の施錠を含め拘束はされていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎朝、誓いの言葉として、復唱し、虐待防止に意識づけている。昨年、10月より毎月、事例検討会を行っている。また、月2回虐待のチェック・スタッフの態度チェックを実施している。	毎朝、誓いの言葉として、復唱し、虐待防止に意識づけている。昨年、10月より毎月、事例検討会を行っている。また、月3回虐待のチェック・スタッフの態度チェックを実施している。		

自己	外部	項目	自己評価(西ユニット)	自己評価(南ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	スタッフ全員がその制度を理解しているとはいえない。必要時管理者がご家族に説明している。利用者様の権利擁護の件で社会福祉士会に相談に行った。	現在亡くなられたが、利用して頂いていた方もおられた。スタッフ全員がその制度を理解しているとはいえない。必要時管理者がご家族に説明している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は、管理者と事務長、事務担当者より説明し終結している。料金改定の場合は、家族の会などを利用しその趣旨を説明納得をえるようにしている。特に問題はおこっていない。	契約は、管理者と事務長、事務担当者より説明し終結している。料金改定の場合は、家族の会などを利用しその趣旨を説明納得をえるようにしている。特に問題はおこっていない。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議と家族の会を同時開催し、要望や意見を伺った。率直な意見を頂き改善できた。又、面会時や電話で直接受けた事に関しては、必要な事に関しては報告し、個別的に指導した。	運営推進会議と家族の会を同時開催し、要望や意見を伺った。率直な意見を頂き改善できた。又、面会時や電話で直接受けた事に関しては、必要な事に関しては報告し、個別的に指導した。	訪問時や年2回の家族会、サービス担当者会議等を利用し意見や希望の把握に努められている。出された意見等に対しては、改善できるものはすぐに取り組み、報告も行われている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者として、運営に関しては、ミーティングを実施し、勤務体制等については極力スタッフの意見を聞く様にしている。	管理者として、運営に関しては、ミーティングを実施し、勤務体制等については極力スタッフの意見を聞く様にしている。	毎月1回はユニット会議が開かれ意見や要望等を聞く場を設けられている。また、個人面談も随時実施され、機会あるごとに管理者は職員からの意見の聞き取りに努められている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況、実績については毎月個人毎に把握。給与に関しては同業の他法人に劣らないようにしている。出来るだけ自己研修を受ける様にしている。	勤務状況、実績については毎月個人毎に把握。給与に関しては同業の他法人に劣らないようにしている。出来るだけ自己研修を受ける様にしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内の勉強会や外部の研修を受けるようにしている。全スタッフで450時間程度の研修を受講した。	ホーム内の勉強会や外部の研修を受けるようにしている。全スタッフで450時間程度の研修を受講した。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者として、ネットワーク作りや勉強会の世話訪問等と機会を与えサービスの質を向上させるよう努めている。	代表者として、ネットワーク作りや勉強会の世話訪問等と機会を与えサービスの質を向上させるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価(西ユニット)	自己評価(南ユニット)	外部評価		
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設、病院より来られる場合は、スタッフと一緒に訪問し情報を得ている。計画作成においてご本人も同席して頂き意見を聴くようにしている。	施設、病院より来られる場合は、スタッフと一緒に訪問し情報を得ている。計画作成においてご本人も同席して頂き意見を聴くようにしている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族よりご本人のバックグラウンドについての情報を聞く様になっている。又、センター方式の暮らしの情報をご家族で記入して頂いている。孫様よりホームに対しての思いなども書いて頂いている。	家族よりご本人のバックグラウンドについての情報を聞く様になっている。又、センター方式の暮らしの情報をご家族で記入して頂いている。孫様よりホームに対しての思いなども書いて頂いている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族及びご本人の要望や困っておられることを聞き、それより予測されることや疾患管理についてケアプラン2の様式に暫定的なプランをその日のうちに立て申し送りを行っている。	ご家族及びご本人の要望や困っておられることを聞き、それより予測されることや疾患管理についてケアプラン3の様式に暫定的なプランをその日のうちに立て申し送りを行っている。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除・食事の下ごしらえ・洗濯物たたみ・ゴミ出しの準備などをして頂いたり、おやつ作り・カレンダー作りを一緒に行っている。食事は、同時間に同じテーブルで介助しながら摂っている。	掃除・食事の下ごしらえ・洗濯物たたみ・ゴミ出しの準備などをして頂いたり、おやつ作り・カレンダー作りを一緒に行っている。食事は、同時間に同じテーブルで介助しながら摂っている。			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族全員に運営推進会議の案内を行い、会議は入所者様の近況報告や意見交換の場としている。ケアカンファレンスでは率直なご意見を頂いている。	ご家族全員に運営推進会議の案内を行い、会議は入所者様の近況報告や意見交換の場としている。ケアカンファレンスでは率直なご意見を頂いている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	スーパーや外来・公園等で馴染みの方と触れ合う機会はあるが、認知症に対して理解が得られずご本人や家族が傷つかれている事もあり対応が難しい。	スーパーや外来・公園等で馴染みの方と触れ合う機会はあるが、認知症に対して理解が得られずご本人や家族が傷つかれている事もあり対応が難しい。	同一町内の出身の入居者がほとんどで、家族や知人の訪問も多く、日常的なつながりが途切れないよう支援されている。また、馴染みの床屋や飲食店の利用等についても、継続して利用できるよう対応されている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	外出等では利用者様に車椅子を押してもらったりしているが行事などでは口論になり攻撃的になられる方が目立ち、座席の配置を考慮するなど事故防止に留意している。意図的な場面作りを行っている。	外出等では利用者様に車椅子を押してもらったりしているが行事などでは口論になり攻撃的になられる方が目立ち、座席の配置を考慮するなど事故防止に留意している。意図的な場面作りを行っている。			

自己	外部	項目	自己評価(西ユニット)	自己評価(南ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に住み替えた方はいらっしゃらないが入院された時は度々訪問し早く退院でき、リロケーションダメージの最小限に努めている。初盆は献花を送り、お参りしている。	他施設に住み替えた方はいらっしゃらないが入院された時は度々訪問し早く退院できリロケーションダメージの最小限に努めている。初盆は献花を送り、お参りしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	介護計画立案にあたり家族の方にも参加して頂き、ご家族の意向を確認している。日頃の会話やセンター方式D-2より情報をとりご本人の意思として立案している。	介護計画立案にあたり家族の方にも参加して頂き、ご家族の意向を確認している。日頃の会話やセンター方式D-2より情報をとりご本人の意思として立案している。	日常の会話や家族からの情報等、アセスメントを十分に行い、一人ひとりの思いの把握に努められている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族よりセンター方式の私の暮らし方シートに情報を記入しケアプラン時に活用している。	家族よりセンター方式の私の暮らし方シートに情報を記入しケアプラン時に活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルサインのチェック等を行い、異常時は、看護師に報告している。スタッフ間ではケアを行った理由等申し送る様にしている。	バイタルサインのチェック等を行い、異常時は、看護師に報告している。スタッフ間ではケアを行った理由等申し送る様にしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画を作成するにあたっては、ご家族に参加してもらいチームカンファレンスを行っている。急遽、対応しないといけない特に医療的なことは、介護計画の別表に記載し、申し送りしている。	計画を作成するにあたっては、ご家族に参加してもらいチームカンファレンスを行っている。急遽、対応しないといけない特に医療的なことは、介護計画の別表に記載し、申し送りしている。	作成前に家族をまじえての担当者会議を開き、モニタリング・評価が行われ、計画が作成されている。また、作成後に十分な説明が行われ、定期及び随時の見直しも実施されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日ケアプランにそって気づきを書く様にしている。詳細は、介護記録に残し申し送りし、ケアが継続できる様にしている。毎月、モニタリングを行い必要時ケアの見直しをおこなっている。	毎日ケアプランにそって気づきを書く様にしている。詳細は、介護記録に残し申し送りし、ケアが継続できる様にしている。毎月、モニタリングを行い必要時ケアの見直しをおこなっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	デイケアでのレクリエーションに参加して頂いている。隣接の通所リハビリOTにより、ポジショニングの指導や訪問マッサージ等の導入をしている。	デイケアでのレクリエーションに参加して頂いている。隣接の通所リハビリOTにより、ポジショニングの指導や訪問マッサージ等の導入をしている。		

自己	外部	項目	自己評価(西ユニット)	自己評価(南ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くの美容室・理髪店とは連携を取りなるべく利用者様が自由に利用で出来る様連携を取っている。しかし、全員にが出来ているとは言えない。利用者様の気に入りのスーパーへ出かけている。	近くの美容室・理髪店とは連携を取りなるべく利用者様が自由に利用で出来るよう連携を取っている。しかし、全員にが出来ているとは言えない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所者のほとんどが当ホームの開設者である内科を利用されていた方で主治医との長年の信頼関係ができています。入所しばらくは、かかりつけ医又は、専門医に受診して頂く様にしている。	入所者のほとんどが当ホームの開設者である内科を利用されていた方で主治医との長年の信頼関係ができています。入所しばらくは、かかりつけ医又は、専門医に受診して頂く様にしている。	入居前の主治医が隣接する医院である方が多いが、希望されればもとのかかりつけ医のもとで受診が行われている。24時間連携できる体制もとられ、適切な医療が受けられるよう支援されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師で、スタッフは、いつもと変わった事があれば報告する様にしている。報告の状況を確認し、必要時受診するようにしている。又、医療面の観察事項等については、介護計画別表およびケアノートに記している。	管理者が看護師で、スタッフは、いつもと変わった事があれば報告する様にしている。報告の状況を確認し、必要時受診するようにしている。又、医療面の観察事項等については、介護計画別表およびケアノートに記している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、サマリーに加えアセスメント表を提供し入院中の生活の支障を少なくなるよう努めている。退院が決まれば、計画作成担当者とともに訪問し、退院後の計画作成の為の情報を得て退院後の生活がスムーズにいこうにしている。	入院時は、サマリーに加えアセスメント表を提供し入院中の生活の支障を少なくなるよう努めている。退院が決まれば、計画作成担当者とともに訪問し、退院後の計画作成の為の情報を得て退院後の生活がスムーズにいこうにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所者様の状態の変化については、代表者でもある主治医の方から管理者も立ち会い説明される。終末期のケア終結については、計画作成担当者、スタッフも参加してもらいスタッフの不安を直接家族に聴いて頂き納得を得る様にしている。	入所者様の状態の変化については、代表者でもある主治医の方から管理者も立ち会い説明される。終末期のケア終結については、計画作成担当者、スタッフも参加してもらいスタッフの不安を直接家族に聴いて頂き納得を得る様にしている。	契約時にホームの指針が説明され、確認もとられている。状態に応じた段階ごとに、家族、主治医、職員も交えて対応を話し合い、今後の方針を共有されている。看取りの希望があれば、対応できる体制をとられている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成している。勉強会等はすべての職員にできているとは言えない。	マニュアルを作成している。勉強会等はすべての職員にできているとは言えない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は、実施している。災害については、紙面上での勉強会・話し合いを実施している。災害時の備え等については、代表者と話し合い準備が必要と思う。	避難訓練は、実施している。災害については、紙面上での勉強会・話し合いを実施している。災害時の備え等については、代表者と話し合い準備が必要と思う。	避難訓練は年2回実施されている。近隣の工場へも協力の依頼要請がなされ、区長の参加もある。その他の災害に対しても、過去の災害データをもとに対処が検討され、避難経路も確認されている。	

自己	外部	項目	自己評価(西ユニット)	自己評価(南ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	面会の方から他入所者についての尋ねられた場合については個人情報・守秘義務により答えられない事を説明している。入所者一人一人に合った呼び方・言葉かけをするように気をつけている。	面会の方から他入所者についての尋ねられた場合については個人情報・守秘義務により答えられない事を説明している。入所者一人一人に合った呼び方・言葉かけをするように気をつけている。	入居者の生活歴、職歴等を尊重し、一人ひとりに応じた声かけが行われている。個人情報については、事務所で保管する等、慎重な取り扱いがなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	センター方式の暮らしの情報より把握しているが日々の介護に十分生かしているとは言えない。	認知症の方のサイドから介護するスタッフに対してのメッセージの言葉を目立つ所に貼り、意識付けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事も定刻にこだわらずご本人の希望に合わせて食事して頂いている。入浴は、なるべくご本人の希望の時間や好まれる時間に入って頂いている。	食事も定刻にこだわらずご本人の希望に合わせて食事して頂いている。入浴は、なるべくご本人の希望の時間や好まれる時間に入って頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人・ご家族に尋ね髪カットを依頼している。ご本人の希望の店に行きたくことを支援している。又、お化粧をしたりして頂いている。また、服の組み合わせが画一的にならない様配慮している。	ご本人・ご家族に尋ね髪カットを依頼している。服の組み合わせが画一的にならない様配慮している。髭剃りは、ご本人のシェーバーを使用し、適時髭剃りをしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎朝、今日のメニューについての説明をしている。一人一人の食形態・好みに合わせ提供している。下ごしらえ(じゃがいも等の皮剥き・ネギを揃える等して頂いている)おやつを中心に一緒に作って食べて頂くようにしている。	毎朝、今日のメニューについての説明をしている。一人一人の食形態・好みに合わせ提供している。下ごしらえ(じゃがいも等の皮剥き・ネギを揃える等して頂いている)おやつを中心に一緒に作って食べて頂くようにしている。	入居者の希望を聞きながら献立が決められ、下ごしらえや下膳等、能力に応じた関わりが出来るよう支援されている。また、誕生会では希望に応じた特別メニューが提供される等、食事が楽しみなものとなるよう工夫されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー不足等に対しては、栄養補助食品を使ったり、自力で摂取困難な方は、食器や食形態の工夫を行っている。水分量については、必要時測定しinとoutを記録し、調整している。	カロリー不足等に対しては、栄養補助食品を使ったり、自力で摂取困難な方は、食器や食形態の工夫を行っている。水分量については、必要時測定しinとoutを記録し、調整している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きを行って頂くようにしている介助が困難な方に対しては、歯科衛生士の訪問をお願いしている。歯がない方は口腔ウエッティで拭いている。	毎食後歯磨きを行って頂くようにしている介助が困難な方に対しては、歯科衛生士の訪問をお願いしている。歯がない方は口腔ウエッティで拭いている。		

自己	外部	項目	自己評価(西ユニット)	自己評価(南ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄時間にトイレへ誘導している。オムツ使用の方もトイレで排泄を試みている。夜間のトイレ移動が困難な方は、ポータブルトイレを使用し、移乗が困難な方は、尿取りパット交換で対応している。	個々の排泄時間にトイレへ誘導している。オムツ使用の方もトイレで排泄を試みている。夜間のトイレ移動が困難な方は、ポータブルトイレを使用し、移乗が困難な方は、尿取りパット交換で対応している。	排泄の自立に向け、可能な限りトイレでの排泄支援が行われている。排泄のパターンや表情等に注意し、トイレへの誘導や声かけが行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	緩下剤を服用しないとコントロール出来ない方が多いのが現状だが、最低の量で済む様に、散歩を積極的にするやヤクルト等の乳製品やバナナを積極的に取って頂く様にしている。	緩下剤を服用しないとコントロール出来ない方が多いのが現状だが、最低の量で済む様に、散歩を積極的にするやヤクルト等の乳製品やバナナを積極的に取って頂く様にしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的に入浴日、時間の設定はしていない。利用者様が希望されればその時間に入浴して頂く様にしているが、入浴を誘っても拒否される方が多く、その方のバックグラウンドに合わせた誘いを工夫している。個別で対応している。	基本的に入浴日、時間の設定はしていない。利用者様が希望されればその時間に入浴して頂く様にしているが、入浴を誘っても拒否される方が多く、その方のバックグラウンドに合わせた誘いを工夫している。個別で対応している。	週に3~4回は最低でも入浴ができるよう支援されている。毎日入浴を楽しまれている方もおられ、本人の希望に応じた対応がなされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の意思を確認し居室で休んで頂く様にしている。又、円背等や体位調整出来ない方に対しては、ポジショニングにて良肢位になるようクッションなどで工夫している。難しい方に対しては、ケアのOTの指導を受けている。	ご本人の意思を確認し居室で休んで頂く様にしている。又、円背等や体位調整出来ない方に対しては、ポジショニングにて良肢位になるようクッションなどで工夫している。難しい方に対しては、ケアのOTの指導を受けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明は、ファイルでいつでも見られる様にしている。薬の作用、副作用等についてケアプランの別表に看護師が記している。変化があれば、看護師に報告し主治医に報告している。服薬について、薬剤師の指導を受けた。	薬の説明は、ファイルでいつでも見られる様にしている。薬の作用、副作用等についてケアプランの別表に看護師が記している。変化があれば、看護師に報告し主治医に報告している。服薬について、薬剤師の指導を受けた。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日、利用者様のハーモニカ演奏にて歌う事が日課になっている。食事の時、晩酌を楽しみにされている方もおられる。	毎日、利用者様のハーモニカ演奏にて歌う事が日課になっている。食事の時、晩酌を楽しみにされている方もおられる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物に行きたいと言われる方に対してスタッフと一対一で買い物を支援し、ご本人の欲しい物買って頂いている。トイレの勝手が良い道の駅等を選択し出かけている。ラーメンが食べたいとの事で食べにお連れしたり、日田のビール工場見学も実施。	買い物に行きたいと言われる方に対してスタッフと一対一で買い物を支援し、ご本人の欲しい物買って頂いている。トイレの勝手が良い道の駅等を選択し出かけている。ラーメンが食べたいとの事で食べにお連れしたり、日田のビール工場見学も実施。	日常的に散歩や玄関前の広場でおやつ時間を設ける等の支援が行われている。また、ビール工場や道の駅へのドライブ、買い物や外食、冠婚葬祭への出席等、家族の協力も得ながら、入居者の希望に応じた外出支援がなされている。	

自己	外部	項目	自己評価(西ユニット)	自己評価(南ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数名の方がお小遣い程度のお金を所持されている。ほとんどの方は、事務所にて預かり必要時スタッフが持参している。財布ごとお渡しし、支払いをして頂いている。	数名の方がお小遣い程度のお金を所持されている。ほとんどの方は、事務所にて預かり必要時スタッフが持参している。同じ物をいくつも買われる為、ご家族が制限されている方もいらっしゃる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ケースバイケースで必要時ご家族と電話を繋ぐ事もある。自ら電話をかけと言われる方は殆どおられずこちらから誘導している事が多い。	ケースバイケースで必要時ご家族と電話を繋ぐ事もある。自ら電話をかけと言われる方は殆どおられずこちらから誘導している事が多い。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やフロアは、季節の花を生けたり飾りをしたりしている。消臭の為に空気清浄機を備えている。室温・湿度は室温時計にてエアコンを使用するようにしている。直射日光はカーテン等で遮れるようレースのカーテン等を使用している。	玄関やフロアは、季節の花を生けたり飾りをしたりしている。消臭の為に空気清浄機を備えている。室温・湿度は室温時計にてエアコンを使用するようにしている。直射日光はカーテン等で遮れるようレースのカーテン等を使用している。	室温、湿度、換気等々にも配慮され、家族からの要望で玄関に季節の花が飾られたり、空気清浄器が設置される等、入居者が気持ちよく過ごせるよう工夫されている。また、職員により一日3回は掃除が行われ、清潔の保持にも努められている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファ(二人掛け・一人掛け)利用者様のニーズに合わせて使用している。リビングの畳等で休まれる場合は、つい立を立てたりカーテンを使用している。居室に帰られる方は、閉じこもりがちにならない様に時を見て声かけをしている。	廊下にソファ(二人掛け・一人掛け)利用者様のニーズに合わせて使用している。リビングの畳等で休まれる場合は、つい立を立てたりカーテンを使用している。居室に帰られる方は、閉じこもりがちにならない様に時を見て声かけをしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居される時に新しい家具や衣類ではなく使い慣れたものをお願いはしているが、新品を持って来られる方が多い。家族写真等を持って来て頂くようにしている。	入居される時に新しい家具や衣類ではなく使い慣れたものをお願いはしているが、新品を持って来られる方が多い。家族写真等を持って来て頂くようにしている。	全室畳の部屋であるが、必要に応じてベッドが持ち込まれたり、クロスが張られたり、入居者一人ひとりの状態や希望時に応じた部屋作りに努められている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下などにはトイレまでの道順や場所が分かる様に案内をテープで表示している。異食や誤飲による危険な物は手の届かない場所に置く様に配慮している。また、ソファの位置など配慮している。	廊下などにはトイレまでの道順や場所が分かる様に案内をテープで表示している。異食や誤飲による危険な物は手の届かない場所に置く様に配慮している。また、ソファの位置など配慮している。		